


1. 総論

【総括判断】「管内経済は、緩やかに持ち直している」







項目	前回（4年4月判断）	今回（4年7月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	緩やかに持ち直している	

（注）4年7月判断は、前回4月判断以降、7月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、百貨店・スーパー販売やコンビニエンスストア販売が持ち直しているほか、宿泊などサービス消費に持ち直しの動きがみられることから、緩やかに持ち直している。生産活動は、供給面での制約の影響がみられるなか、電子部品・デバイスや汎用・生産用・業務用機械が高水準で推移していることから、持ち直している。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。

【各項目の判断】

項目	前回（4年4月判断）	今回（4年7月判断）	前回比較
個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	緩やかに持ち直している	
生産活動	一部に弱さがみられるものの、持ち直している	持ち直している	
雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	
設備投資	3年度は増加見込み	4年度は増加見込み	
企業収益	3年度は増益見込み	4年度は増益見込み	
住宅建設	持ち直しつつある	持ち直しつつある	

【先行き】

先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動の正常化が進む中で、各種政策の効果もあって、持ち直していくことが期待される。ただし、ウクライナ情勢の長期化や中国における経済活動の抑制の影響などが懸念される中での原材料価格の上昇や供給面での制約に加え、金融資本市場の変動等による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、感染症による影響を注視する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「緩やかに持ち直している」

百貨店・スーパー販売は、食料品が堅調であることに加え、外出機会の増加に伴い衣料品に動きがみられることから、持ち直している。コンビニエンスストア販売は、行楽需要などを背景に客数が増加していることから、持ち直している。ドラッグストア販売は、食料品や衛生用品を中心に堅調である。ホームセンター販売は、DIY関連商品に需要の落ち着きがみられることから、横ばいとなっている。家電大型専門店販売は、節電効果の高い家電への買い替え需要もあり、堅調である。乗用車の新車販売は、供給面での制約により、弱い動きとなっている。宿泊は、助成事業の効果もあり、持ち直している。

(主なヒアリング結果)

- 大規模な催事の効果もあり来店客数が増加している。衣料品は旅行用のほか、結婚式などで使うフォーマルの売上が伸びている。足下の感染者数の増加による影響もあまりみられない。(百貨店・スーパー)
- 内食需要は続いており、食料品は堅調。今年は梅雨明けが早かったこともあり、来店客数は前年を上回っている。(百貨店・スーパー)
- 行動制限がないため、来店客数が前年と比べ2割程度増えている。コロナ禍の影響を受けていた映画館にも客足が戻ってきている。(大型商業施設)
- 行楽需要の回復により、前年是不調だった空港や駅周辺の店舗において来店客数が増加しており、おにぎりやサンドイッチなどが好調。(コンビニエンスストア)
- 電気料金の値上がりや、省エネ家電へ買い替える動機となっている。(家電大型専門店)
- 受注は好調であるものの、中国のロックダウンの影響により部品供給が停滞し、新車の納期がさらに長期化している。(自動車販売店)
- 助成事業の効果により4月以降宿泊者数は増加しており、売上はコロナ禍前の7割程度まで回復している。(宿泊施設)
- 酒類を提供する飲食店は、週末の客足が戻っているものの、平日は良い日と悪い日の差が大きく、予約が入っていない日は休業する店もある。(飲食業界団体)

■ 生産活動 「持ち直している」

食料品等は、焼酎などで減少しているものの、横ばいの状況にある。電子部品・デバイスは、車載向けや民生向け部品を中心に高水準で推移している。化学・石油製品は、自動車向け製品が回復傾向にあり、堅調である。汎用・生産用・業務用機械は、部材不足の影響がみられるものの、半導体製造装置を中心に高水準で推移している。輸送機械は、部材不足により自動車及び同部品が減少したものの、持ち直しの動きがみられる。

- 芋焼酎の原料であるさつま芋が昨年夏の長雨や基腐病の影響により不作となったため、原料不足が生じ、生産調整を余儀なくされた。(食料品等)
- 車載向けや家電向けの旺盛な需要が続いていることから、全ての工程でフル稼働が続いている。(電子部品・デバイス)
- 車や建築用の塗料について、自動車減産の影響で生産調整を行ったものの、中国のロックダウンの影響により当社において代替生産を行うこととなったため、稼働率は上昇している。(化学・石油製品)
- 5Gの普及やデータセンター向けの需要の高まりにより半導体メーカーが設備投資を拡大しているため、半導体製造装置の受注は好調で高い生産水準が続いている。装置に組み込む部品の調達には遅れているものの、調達可能な部品への切り替えや設計変更、工程の組み替えを行いながら、何とか凌いでいる。(汎用・生産用・業務用機械)
- 中国のロックダウンの影響による部品不足のため減産を余儀なくされたものの、7月以降はロックダウンの影響も緩和される見込みであり、挽回生産を行う予定。(輸送機械)

■ 雇用情勢 「緩やかに持ち直している」

有効求人倍率は、緩やかに上昇している。新規求人数は、医療・福祉、宿泊業・飲食サービス業、その他の事業サービス業を中心に前年を上回っている。

- 早朝や夜間など人手が不足する時間帯について、少し高めに時給を設定して募集しているものの、多くの企業が求人を出していることもあり、応募がない状況が続いている。(医療・福祉)
- ハローワークや求人サイトで募集をかけているものの、外食産業は感染症の影響で不安定なイメージがあるため、確保が難しい。(飲食サービス業)

■ 設備投資 「4年度は増加見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」4年4～6月期

- 製造業では「はん用機械器具製造業」などで減少見込み、「情報通信機械器具製造業」などで増加見込みとなっており、全体では増加見込みとなっている。
- 非製造業では「情報通信業」などで減少見込み、「農林水産業」などで増加見込みとなっており、全体では増加見込みとなっている。

- 電動化の進展が期待される自動車用部品や海外での需要増加が見込まれる民生用部品を増産するための設備投資を計画。(情報通信機械器具製造業)
- 豚舎等の建物の老朽化対策、飼料や水の管理を行うIT設備への投資を予定。(農林水産業)

■ 企業収益 「4年度は増益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」4年4～6月期

- 製造業では、「化学工業」などで減益見込み、「生産用機械器具製造業」などで増益見込みとなっており、全体では増益見込みとなっている。
- 非製造業では、「小売業」などで増益見込み、「農林水産業」などで減益見込みとなっており、全体では減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「現状判断は『下降』超」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」4年4～6月期

- 4年4～6月期の景況判断BSIをみると、全産業では「下降」超となっている。先行き(全産業)をみると、4年7～9月期は「上昇」超の見通しとなっている。

■ 住宅建設 「持ち直しつつある」

- 新設住宅着工戸数(4年3月～5月)をみると、持家及び分譲は前年を下回っているものの、貸家は前年を上回っている。

■ 公共事業

- 公共工事請負金額(4年4～6月累計)をみると、前年度を下回っている。

■ 農業

- 野菜の農協共販量をみると、4月は前年を下回り、5月は前年を上回っている。野菜の販売単価をみると、4月は前年を上回り、5月は前年を下回っている。
- 牛のと畜頭数をみると、4月、5月は前年を下回っている。牛の枝肉卸売価格をみると、4月、5月は前年を下回っている。
- 豚のと畜頭数をみると、4月、5月は前年を下回っている。豚の枝肉卸売価格をみると、4月は前年を下回り、5月は前年を上回っている。

■ 倒産

- 企業倒産(4年4～6月期)は、件数、負債金額ともに前年を上回っている。

3. 各県の総括判断

	前回(4年4月判断)	今回(4年7月判断)	前回比較	総括判断の要点
熊本県	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	持ち直している		個人消費は、百貨店・スーパー販売やコンビニエンスストア販売が持ち直しているほか、宿泊などサービス消費に持ち直しの動きがみられることから、緩やかに持ち直している。生産活動は、供給面での制約の影響がみられるなか、汎用・生産用機械や電子部品・デバイスが高水準で推移していることから、回復している。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。
大分県	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	緩やかに持ち直している		個人消費は、感染症の落ち着きに伴う人流の増加により百貨店・スーパー販売や観光関連などにおいて緩やかに持ち直している。生産活動は、輸送機械などに弱さがみられるものの、化学・石油製品などにおいて緩やかに持ち直している。雇用情勢は、感染症の影響を受けていた業種などで新規求人数が増加し、緩やかに持ち直している。
宮崎県	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある	緩やかに持ち直している		個人消費は、行動制限の緩和などにより百貨店・スーパーやレジャー・観光施設などで客足に戻りがみられることから緩やかに持ち直している。生産活動は、食品製造業などの一部に弱さがみられるものの、化学工業を中心に緩やかに持ち直しつつあるほか、雇用情勢は、宿泊業・飲食サービス業を含む幅広い業種において持ち直しつつある。
鹿児島県	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある	緩やかに持ち直している		個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐなかで、百貨店・スーパー販売や宿泊・観光関連を中心に緩やかに持ち直している。生産活動は、食品工業などの一部に弱さがみられるものの、電子部品・デバイス工業を中心に緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。